

## 第7回 砂川市立小中学校統合準備委員会 会議記録

○日 時 令和5年1月31日(火) 18:00~18:30 (所要時間=30分)

○会 場 砂川市役所 2階 大会議室

○出席者

【委 員】 18名

【教育委員会】 6名

【事務局】 5名

○傍聴者 なし

○議事記録

1. 開 会

2. 挨拶 統合準備委員会会長

3. 報告事項

- ・義務教育学校建設ワークショップについて
- ・学校間連携事業について

【議事の内容(要旨)】

事務局

・義務教育学校建設ワークショップについて  
1点目、「義務教育学校建設ワークショップについて」は、令和8年度の義務教育学校の開校に向けて、基本設計を進めていますが、「新しい学校について知ってもらう」「今の学校と新しい学校への子ども達の思いを集める」「市内小中学校の児童・生徒の交流を図る」ことを目的として、1月21日土曜日午前10時から、地域交流センターゆうの大ホールにおいて「子どもワークショップ～新しい学校をみんなで考えよう～」を行いました。参加者は、市内7校の小中学校より推薦いただいた各校3名、計21名の児童・生徒で3つのグループに分かれてグループワークを行い、今の学校の好きなどころ、「新しい学校でこんなことができたらいいな」と思うことや「こんな場所になって欲しい」といったことについて意見交換を行いました。各グループに、樹木の描かれているウィッシュツリーと称した一枚の大きなパネルが配置され、土の部分には今の学校の好きなどころを書いた四角い付箋を、枝の部分には新しい学校に対する思いをリンゴの形をした付箋に書いて貼っていき、今の7つの学校の良いところを養分に一つの新しい学校にしていくという趣旨のもとグループワークが行われ、最後には各グループで発表を行いました。今の学校の好きなどころは「みんなの仲が良い」「先生が優しい」「思いやりを大切にしている」「皆の挨拶が大きいところ」といった学校施設などのハ

ード面よりもソフト面の意見が多く出ていました。「新しい学校がこうなったらいいな」というリンゴの付箋には、「大きい図書室」「ロッカーを大きく」「エレベーターが欲しい」「体育館の上にギャラリーが欲しい」「自分たちの花壇が欲しい」「廊下を温かく」「屋上が欲しい」といった校舎に対する意見や、「他学年と交流したい」「違う学年同士が勉強を教えあう時間があったらよい」「他学年とたくさん交流できるイベントがあるといい」といった交流に関する意見がたくさん出ていました。今回のワークショップの詳細につきましては、後日ホームページ等でも紹介させていただきますので、その際にご覧いただければと思います。また、2月10日の金曜日に地域交流センターゆうの大ホールにおいて、市民建設ワークショップを開催します。この市民建設ワークショップは、全2回の予定で、1回目は今回の子どもワークショップで出た子どもたちの意見をもとに、「空間整備コンセプト（案）」を提案して、それをもとに「学校の空間像」についてグループワークを行います。申し込みについては、2月2日から8日まで、電話及び議案に記載のQRから申し込みをお願いします。

次に2ページの今後の予定になりますが、2回目の市民建設ワークショップでは、学校で実現したい子どもの活動シーンのイメージについて話し合いを行います。5月下旬に基本設計プランの方向性について意見収集を行う機会を設け、7月には基本設計（案）の紹介機会としてオープンハウスを実施する予定です。オープンハウスについては、基本設計（案）に至る検討経過や成果の紹介、基本設計（案）についての説明、模型の展示、VR体験コーナーなどを行う予定です。詳細が決まり次第、本委員会やホームページ、広報等で周知しますので、ご参加いただければと思います。

#### ・学校間連携事業について

事務局

2点目、「学校間連携事業について」は、夏休み、冬休みに、それぞれ各小学校において学習サポート事業を実施しており、今回、砂川小学校では砂川高校の生徒、空知太小学校では砂川中学校と石山中学校の生徒、北光小学校では石山中学校と砂川高校の生徒が学習ボランティアとして参加し、事業を実施しました。実施日や参加者数などは議案の3ページ、4ページに記載の通りとなっています。

質疑、意見等 特になし

#### 4. 協議事項

- ・義務教育学校の制服の導入時期について

##### 【議事の内容（要旨）】

事務局

- ・義務教育学校の制服の導入時期について

「義務教育学校の制服の導入時期について」協議させていただき、制服導入時期を令和6年度とするか、令和8年度とするか決定したいと考えています。まず、制服の導入時期決定に係るスケジュールについては、令和6年度とした場合、新型コロナウイルス感染症やウクライナ戦争などの影響で生地素材となるポリエステル原糸の入手が困難になっていることから、通常であれば8月から10月までにデザインを決定するところ、6月までにはデザインを決定しなければいけない状況となっています。ボタン・ネクタイなどについては夏頃でも良いのかもしれませんが、制服自体については6月決定がリミットとなります。そこから逆算しますと、2月から5月に業者選定、業者からのデザイン提案、内部でのデザイン検討、デザイン選定を行うこととなります。デザインが決定した後は10月頃までに制服販売店を決め、12月から1月上旬に制服合わせとなります。令和6年度から新制服を導入するメリットとしては、義務教育学校開校時に全校生徒が同じ制服となることが挙げられますが、デメリットとしては、時間がない中で決めなければいけないため、保護者、児童生徒の意見集約や協議の時間が十分に取れないこと、校名や義務教育学校の姿が定まっていないため、デザインに義務教育学校を反映させにくいという点があります。

次に、令和8年度から新制服を導入する場合のスケジュールですが、今年の12月までにある程度、制服の方向性を検討し、令和6年中に業者選定、デザイン案検討、デザイン選定を行います。具体的には、令和6年3月頃までに業者を決定、8月頃までにデザイン案を検討、12月までにデザインを選定します。令和7年の3月までにデザインを決定、6月くらいまでに販売店決定という流れが考えられます。令和8年度から新制服を導入するメリットとしては、今後協議決定される学校名や7月完成予定の基本設計書からイメージできる学校像など、デザインに反映できる要素が増えるとともに、協議検討にかかる時間も十分に確保できるものと考えています。デメリットとしては、開校時点では7年生のみの新制服着用が考えられます。なお、令和6年度から新しい制服を導入する場合、制服業者の選定方法を本日決定しなければなりません。令和8年度から導入する場合は、最長で12月までに決定していくこととなります。また、令和6年度から導入する場合は、6月までにデザインを決定していく必要がありますが、令和8年度から導入する場合は、令和6年度中に協議・決定していくこととなります。なお、先日のアンケート結果においては、6ページに参考資料を掲載していますが、新制服の導入時期については令和6年度、令和8年度ともに大きな差はありませんでした。本日、委員の皆さんの意見を伺いながら、制服の導入年度を決定したいと思っております。

会長

新制服の導入時期を令和6年度とするか、令和8年度とするか、本日決めたい

と思います。ご意見ありますか。

委員 議案に書かれているメリット、デメリットの中に「制服についての協議、検討が十分にできる、できない」とありますが、制服についての協議、検討は十分に  
行い決定していく必要があると思うので、令和8年度から導入するのが良いと思  
います。令和6年度に導入だと、十分な検討はできないと思います。制服につい  
ては、子どもも大人も多くの時間をかけて、みんなで考えていければ良いと思  
います。

会長 令和6年度に導入が良いという人はいますか。皆さん、令和8年度の導入が良い  
ということですか。私は、学校の名前も決まっていなのに、制服だけ決まる  
ということに違和感がありました。それでは、導入時期に関して、義務教育学校  
開校時の統一感はなくなりますが、令和8年度でよろしいですか。

反対意見はないようなので、令和8年度から新制服を導入することとします。  
制服導入に至る検討事項について事務局お願いします。

事務局 制服導入に至る検討事項については、一例ですので、これ以外の方法もありま  
すが、そこについては新年度の統合準備委員会で協議いただければと思います。

制服業者の選定方法については、何社か制服業者があるので、各社から企画書  
を提出いただき書面で決定する方法やこの場で制服業者にプレゼンテーションを  
行っていただいて決定する選定方法が考えられます。また、制服デザインの提案  
方法については、制服業者に3パターン程度のデザインを提案いただき協議する  
方法や制服のコンセプト等を制服業者に伝えて制服デザインを提案していただく  
方法が考えられます。

制服デザインの決定方法については、統合準備委員会で協議、検討して決定す  
る方法や保護者、児童、生徒に現物を見ていただいて投票して決定する方法が考  
えられます。

会長 新年度からの検討事項を説明いただきました。令和8年度から新制服を導入す  
ることにに関して、意見ありますか。

では、協議を終わります。

## 5. その他

### 【議事の内容（要旨）】

- 会長 「その他」に移ります。中学校の制服登校に関して報告があります。令和5年度の中学校統合にあたり、制服の取扱いなどについては、昨年度の統合準備委員会の協議の中で、学校運営や生徒・保護者等の意向も踏まえながら両中学校で協議することとなっていました。今回、その結論が出たとのことなので、説明をお願いします。
- 委員 制服の取扱いについては、制服を着用して学校生活を過ごしてきた砂川中学校と学校生活の快適性からジャージ登校を認めていた石山中学校、両校の伝統や取扱いに関わる経過等があり、統合した際の制服の着用について、両校の校長をはじめとした管理職等で構成する学校経営グループの中で協議を重ねてきました。両校の思いがあり、時間が限られた中での協議でしたが、アンケート結果にジャージ登校を可とするよう多くの意見があったことを踏まえながら検討を行い、両校の制服登校を基本とするという定義を尊重しつつ、体育等ジャージで生活することがある日については、ジャージ登校を可とする運用とすることで決定しました。
- 会長 中学校の制服登校に関して、意見ありますか。  
意見がないようですので、事務局をお願いします。
- 事務局 次回の日程について、3月20日月曜日、18時から市役所2階大会議室で開催したいと思います。
- 会長 今回は、3月20日月曜日、18時から市役所2階大会議室で開催したいと思います。それでは、第7回砂川市立小中学校統合準備委員会を閉会します。皆さん、ありがとうございました。

以 上